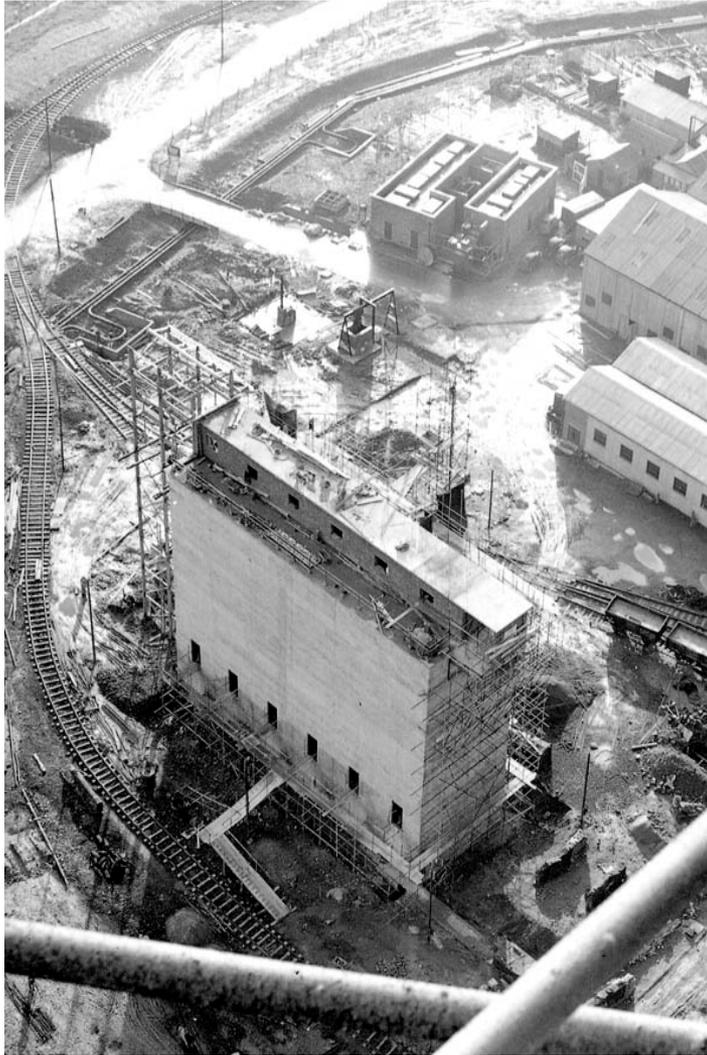


Sellafieldでのパイル燃料被覆管サイロ(PFCSS)の廃止措置

A large iceberg is shown floating in the ocean. The tip of the iceberg is visible above the water surface, while the much larger, jagged base is submerged below. The water is a deep blue, and the sky is a lighter blue. This image serves as a metaphor for the hidden or less visible aspects of a project or process.

Derek Carlisle,
PFCSSプロジェクト長,
Sellafield Ltd

パイル燃料被覆管サイロ (PFCS)



PFCS



取り出し準備の完了 - 氷山の一角



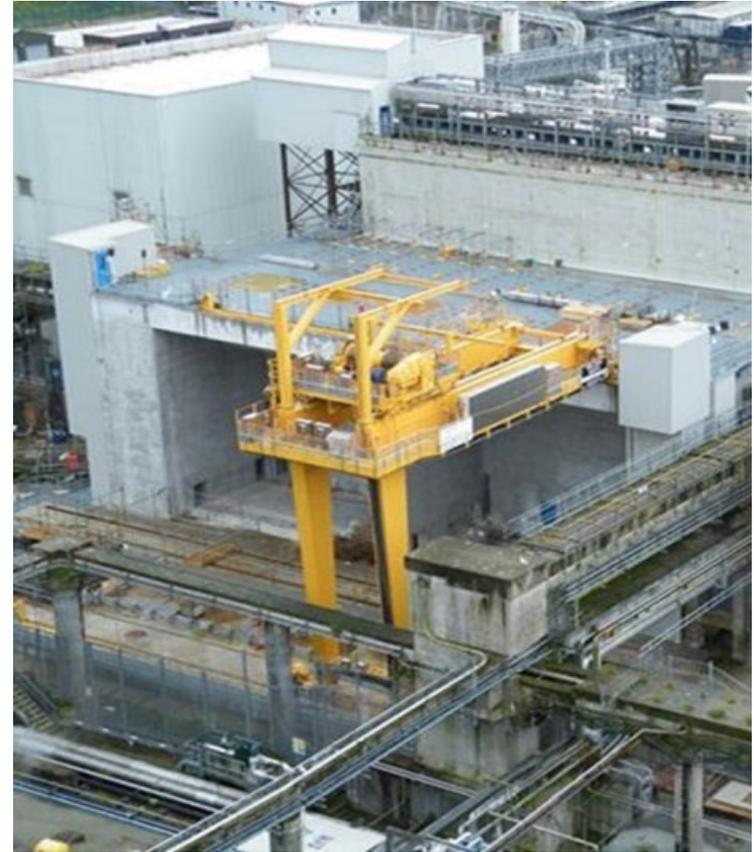
最初に、清浄と安定化



基礎構造物の建設



1950年代



2010年代

大きな数値

2013年:

£559m



新たな到達目標／ビジョン

早期取り出し

不確かさが大きな領域において、リード・アンド・ラーンの考えに基づき、取り出しにできる限り早期にリスク低減を開始する

リード・アンド・ラーン(Lead and Learn)

- 不確かさを除き、今後の取り出し活動を予測可能なものにする
- 不確かさがある領域については、新しい情報に適合することを妨げない単純で柔軟なソリューションが必要

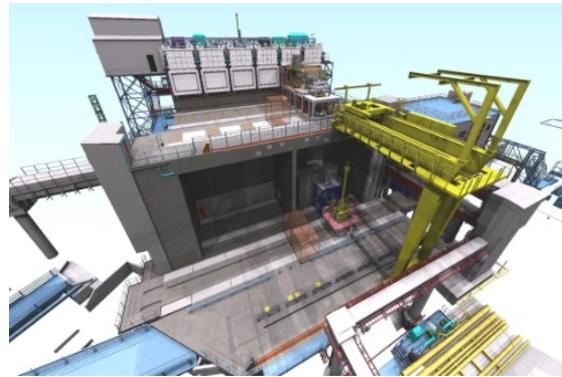
以下によって達成

- 協力作業
- イノベーション
- 地元調達との一体化

パイル燃料被覆管サイロ 作業の加速



2016年6月：英国政府が「リード・アンド・ラーン(lead and learn)」の考えに基づく早期取り出しアプローチを承認



事業の総費用:

£905m



£662m

取り出し作業の開始

2019年

取り出し作業のさらなる加速の可能性

2020年

以前に予測された取り出し作業の開始

2022年

当初予測されたPP14での取り出し作業の開始

協働体制はどう確立されたのか？

以前

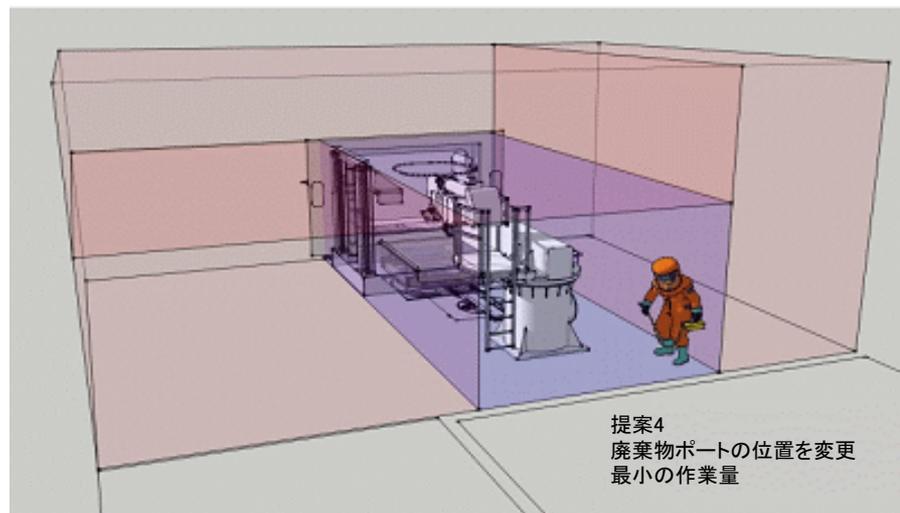
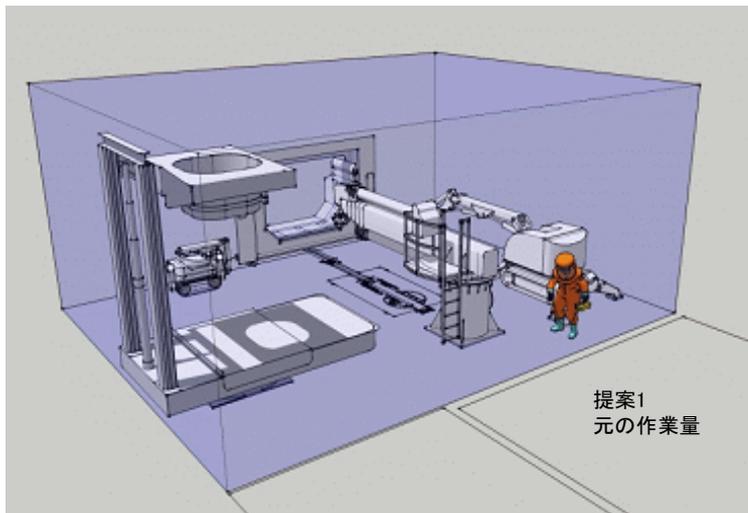
大規模、複雑、階層的な人による成果物のチェックと重複処理



現在

単純化、統合された単一の成果物に的を絞ったチーム

イノベーションと目的整合 (Fit For Purpose)



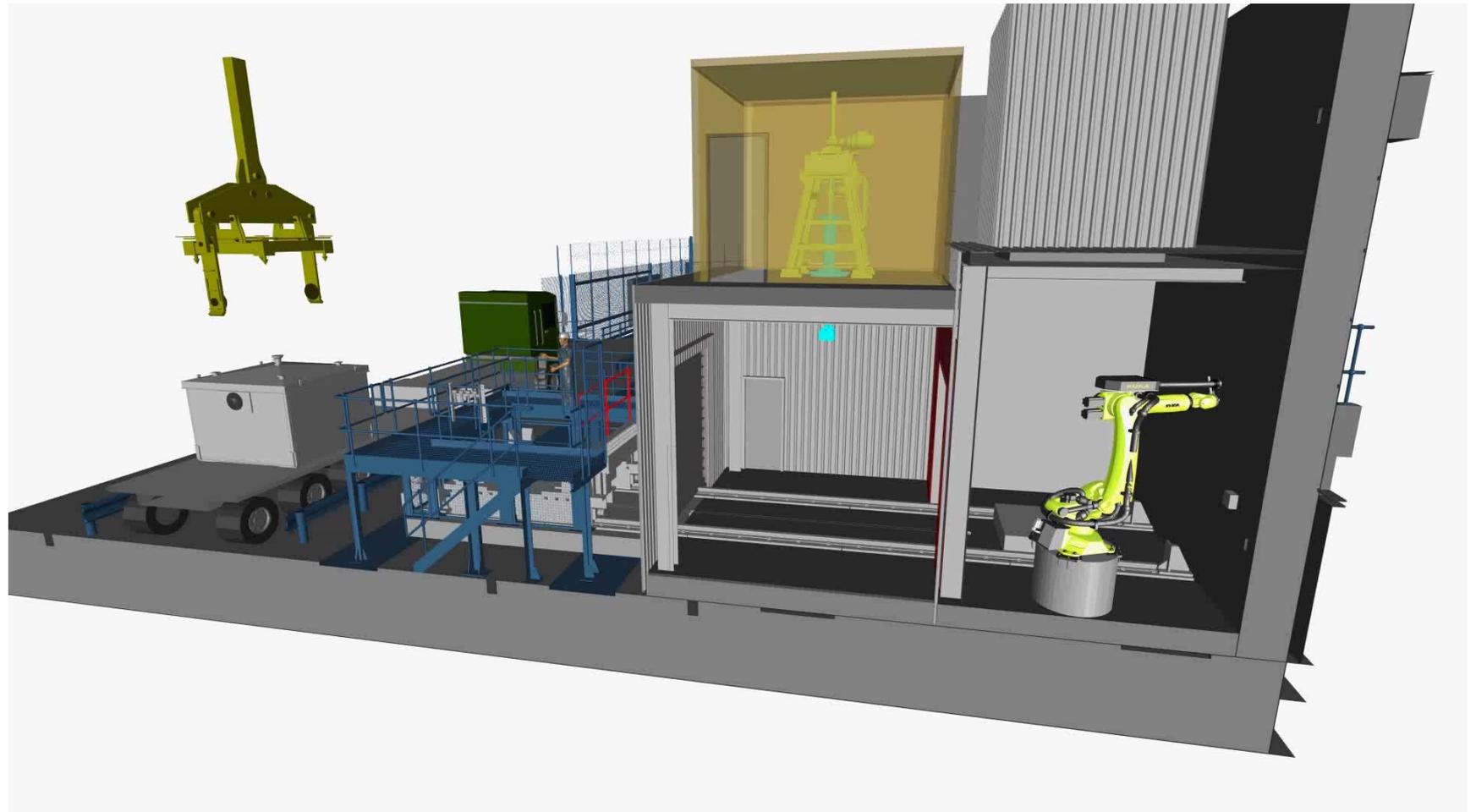
(535m³)



(109 m³)



PFCST取り出しプロセス



地元調達との一体化

目的 - 様々な分野の地域供給者との協働関係の確立

利点

- ・ ニーズと制約条件に関する理解
- ・ 情報に基づく技術の網羅的調査
- ・ プラントへの容易なアクセスにより可能性を確認
- ・ 地理的な連携のしやすさ
- ・ 地元での試験と訓練
- ・ 共用中の地元からのサポート

デフレクタープレートの撤去



デフレクタープレートの撤去



サイロドアの取り付け



サイロドアの据え付け





取り出し用アクセス貫通部



取り出し用アクセス貫通部





Warning
Asphyxiation
hazard zone (AHZ)

**No entry without
breathing
apparatus**

Controlled Area

**Radiation
Contamination**

Except if you are a classified
person or with authority

P.T. NO. H1101
COMPARTMENT NO. 1

PLANT ITEM NO 24014

Warning
Asphyxiation
hazard zone (AHZ)

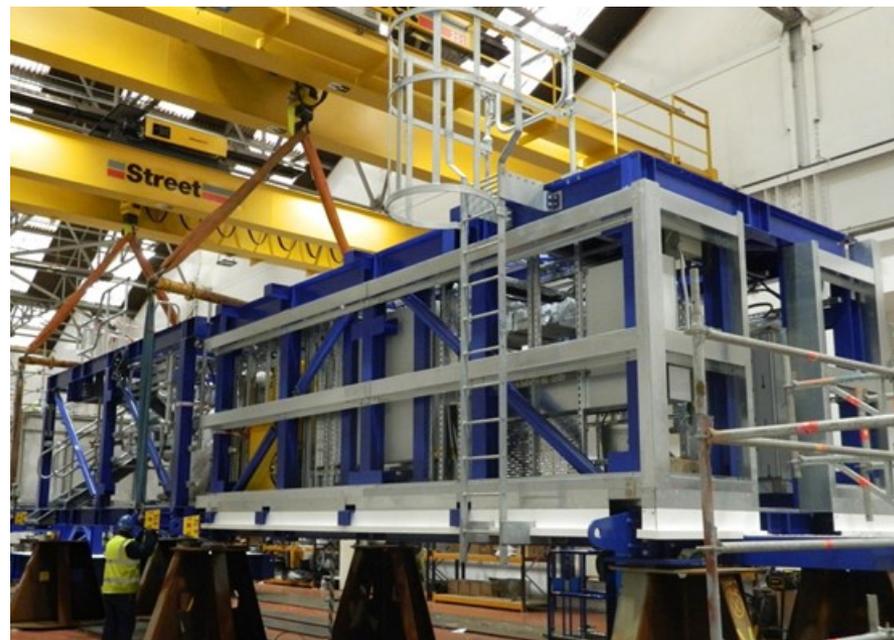
Warning
Asphyxiation
hazard zone (AHZ)

24006

Rosyth造船所での製作



ユニットB - 完成間近の南側下部構造物

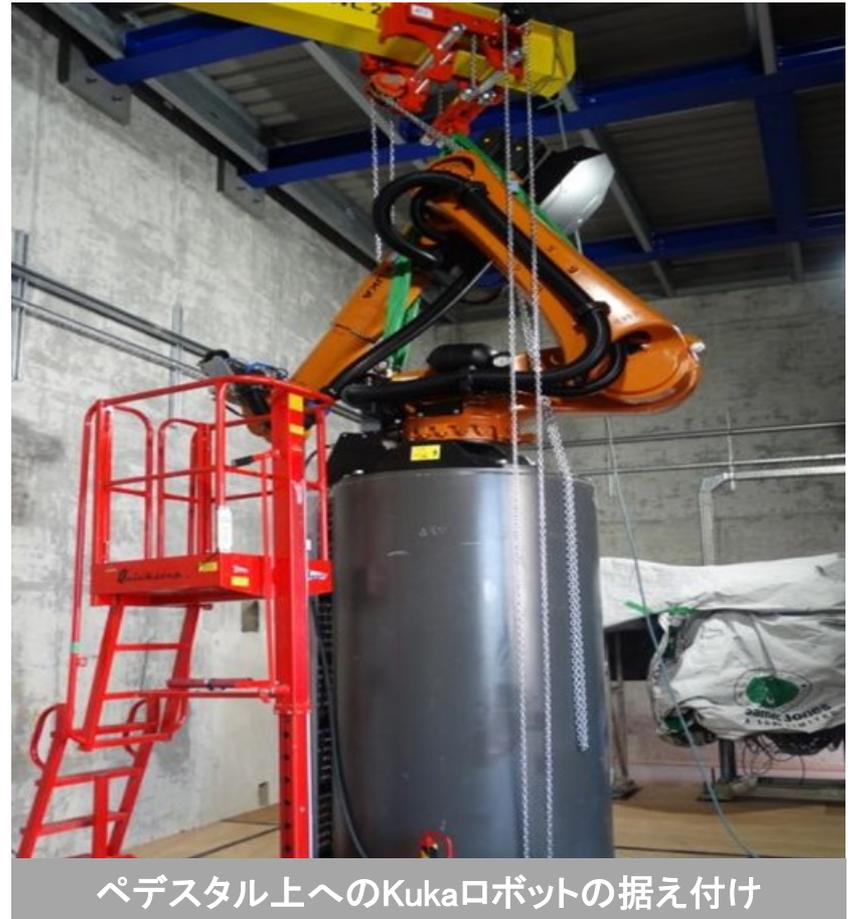


ユニットB - 完成間近のサービスモジュール

成果 - 試験と試運転



取り出し設備の据え付け



取り出し設備の据え付け



廃棄物容器移送アリアモジュールの据え付け

成果 — 取り出しの準備完了！



ご質問は？

